

平成31年2月

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学

教授 山田了士、助教 藤原雅樹

島根大学医学部精神医学講座 教授 稲垣正俊

学術研究「メンタルヘルスと健康関連行動（喫煙・がん検診受診行動等）との関連についての研究」

(1) 学術研究の成果の概要

分析1：心理的苦痛とがん検診受診との関連についての検討

K6によって評価した重度の心理的苦痛と過去1年間の大腸・胃・肺がん検診受診、過去2年間の乳・子宮頸がん検診受診との関連を解析した。その結果、重度の心理的苦痛は、過去1年間の大腸・胃・肺がん検診の未受診と有意な関連を認めた。また、教育歴、婚姻状況、就労状況によって心理的苦痛とがん検診受診との関連に違いがあるかを解析したところ、教育歴が有意な修飾効果を有し、教育年数が相対的に短い場合に、重度の心理的苦痛ががん検診未受診と関連した。

分析2：心理的苦痛と現在の喫煙との関連についての検討

K6によって評価した重度の心理的苦痛と現在の喫煙との関連を解析した。その結果、男女とも重度の心理的苦痛は、現在の喫煙と有意な関連を認めた。この関連は女性の方が強かった。また、人口統計学的変数によってこの関連の強さが異なり、男性では、50歳以上の者と、既婚者で有意な関連を認めた。一方、女性では、20歳以上の者で有意な関連を認めたが、49歳以下の者でより関連が強かった。

(2) 学術研究の成果の公表の取り扱い

分析1：

○論文

Association between serious psychological distress and nonparticipation in cancer screening and the modifying effect of socioeconomic status: Analysis of anonymized data from a national cross-sectional survey in Japan.

Cancer 2018 Feb 1;124(3):555-562.

<https://doi.org/10.1002/cncr.31086>

○学会

第27回日本疫学会学術総会で発表（平成29年1月）

○その他

岡山大学プレスリリース (2017年10月27日)

[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id502.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id502.html)

東北大学プレスリリース (2017年10月27日)

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/news/23255>

分析2:

○論文

Smoking among adults with serious psychological distress: analysis of anonymized data from a national cross-sectional survey in Japan

Journal of Affective Disorders 2018 Oct 15;239:131-137.

<https://doi.org/10.1016/j.jad.2018.07.008>

○学会

第29回日本疫学会学術総会で発表 (平成31年1月)